



令和元年 10 月 吉日

保護者の皆さま

PTA会長 古指 泰宏
文化厚生委員長 嶋田 絢子

第 1 回家庭教育学級 報告だより

令和元年 9 月 26 日、赤堤小学校多目的室にて、講師として世田谷区教育委員会学校支援アドバイザーの橋本弘美先生をお招きし、本年度第 1 回家庭教育学級を開催させていただきました。

～ 橋本弘美先生プロフィール ～

- ・世田谷区教育委員会学校支援アドバイザー
- ・臨床心理士、公認心理士として臨床現場で 35 年の経験をもつ。
- ・これまで、児童相談所・教育相談所・公立中学校カウンセラー・精神科クリニックなどで、主に児童・思春期の子どもたちとその保護者の方々の様々な悩みに対してカウンセリングを行ってきた。二児の母。

当日は 60 名ほどの保護者の方々が参加されました。橋本先生には『子どもを伸ばす親子のふれあい』というテーマでお話を頂戴いたしました。

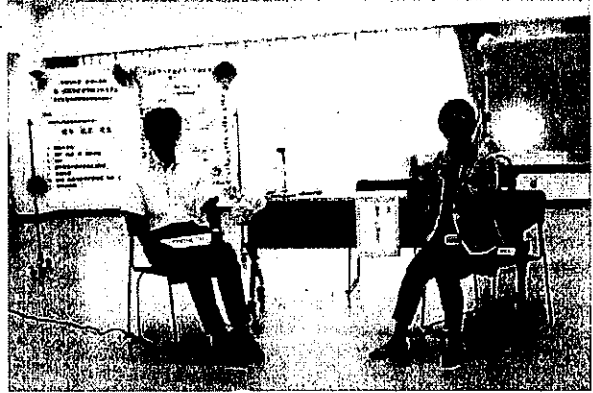
ご講演が進み、橋本先生ご自身の子育ての様々な経験談などをお聞きするうちに、会場は次第に和やかな雰囲気となり、「色々なタイプの子どもがいて当たり前。その子に合わせたふれあいで大丈夫」という先生の優しく説得力のあるお言葉に保護者の皆さんの表情が明るくなっていったのが印象的でした。

ご講演後、“子どもの反抗期”などをテーマとして橋本先生と校長先生の対談が行われました。この対談では校長先生のご自身の幼少期について、またご自身のお子さんに対する父親としての優しさに溢れたお話を聞かせて頂き、普段とは異なる父親としての校長先生の一面に触れることができました。

また橋本先生の「親は子どもと同じ土俵に立たずに上手に反抗させてあげる」というお言葉に、会場が温かい空気に包まれました。

そして会の終盤では、保護者の方からの“共働きにおける子育ての悩み”相談にも説得力のあるお話をいただくことができ、全体を通して大変有意義な家庭教育学級となりました。

当日の様子



参加者からのご意見 (一部抜粋)

☆子どもは精一杯の自分で存在している。精一杯頑張っているという点を認めてあげたいと思いました。

☆子どもの行動にはすべて意味がある。何かあったら体に出る、ということが印象的でした。

☆今まで子どもにしつこく聞き出したり、過干渉だったなと気づきました。やりたいことを思い切りやらせてあげたいなと思いました。母もおおらかな気持ちでいようと改めて思いました。

☆これこそ家庭教育学級だと思いました。今日参加されたすべてのお母さんは心がいやされ、子供に優しく接することができるようになると思います。同じテーマでも、違うテーマでも橋本先生のお話をまたお聞きしたいです。来年度もぜひいらして頂きたい！校長先生の普段とは異なった一面を垣間見ることができて本当に楽しかったです。

☆橋本先生のお子さんの個性を尊重し、当たり前を押し付けない子育てのお話、校長先生の子ども時代の反発ばかりされていたお話には、親が邪魔しなければ、子どもは正しく伸びていくことを実感できました。今日から、子どもを変えようとするのではなく、子どもとのかかわり方を変えることを意識して、子どもの求めるふれあいを実践してみようと思います。

他にもたくさんのご感想を頂き大変ありがとうございました。すべてご紹介できないことをお詫び申し上げます。

家庭教育学級は、子どもの人間形成などに大きな役割を果たす保護者にとっての学び合いの場であり、保護者同士の仲間づくりの場でもあります。

第1回家庭教育学級を終え、ご参加頂いた保護者の方々よりたくさんの温かいお言葉を頂き、誠にありがとうございました。

第2回家庭教育学級は、赤堤小学校スクールカウンセラーを務められている臨床心理士の鈴木裕子先生をお招きし『BASIC Phを使って子育てのコミュニケーションに活かす』をテーマにした家庭の教育力の向上を目指す会を予定しております。

文化厚生委員一同、赤堤小学校保護者様が一人でも多く笑顔になれるよう努めてまいりますので、ぜひご参加くださいませ。皆さまと一緒に楽しい時間を過ごしましょう！！